

産業・労働分野に関する理論と支援の展開

[講義] 第1学年 後期 必修 2単位

《担当者名》 西郷 達雄 中川貴美子（非常勤講師）

【概要】

公認心理師において必須な産業・労働分野に対する理論と支援の知識を実践的に学ぶ。産業・就業構造、および社会背景の変化によってもたらされる労働者への影響に関する知識を習得し、その支援の在り方について学ぶ。また、労働者の安全衛生管理や職場環境改善による施策について学ぶ。産業・労働分野における労働者または集団・組織を対象とした健康維持増進に関する心理的支援や方策を主体的に考え、活用する力を養うことを本科目の目的とする。

【学修目標】

産業・就業構造と社会的背景の労働者への影響について理解する。

産業・労働分野における法規や産業保健の施策について理解する。

公認心理師として、産業・労働分野における個人・組織への心理的支援に関する実践的な知識を習得する。

【学修内容】

回	テーマ	授業内容および学修課題	担当者
1	「産業・労働分野における理論と支援の展開」の全体像	・当科目における学習内容についてのガイダンス ・支援を行う場と活動内容のイメージづくり	中川 貴美子
2	職場のメンタルヘルス支援	心理支援の背景となる理論（産業・組織心理学、ストレス理論） ・活動の基本 ・今日的なトピック	中川 貴美子
3	産業・就業構造と社会背景	・産業、就業構造の変化、社会背景の特徴 ・課題についての発表、討議	中川 貴美子
4	労働関連法規や産業保健の施策	・労働安全衛生法をはじめとした労働関連法規、ストレスチェック制度などの施策 ・課題についての発表、討議	中川 貴美子
5	産業分野における多職種連携と協働、倫理	・連携と協働の実際 ・個人情報保護、守秘義務 ・ケース課題についての討議	中川 貴美子
6	キャリア形成・開発支援	・ケース課題についての発表、討議	中川 貴美子
7	ハラスメント	・ケース課題についての発表、討議	中川 貴美子
8	障害者支援	・ケース課題についての発表、討議	中川 貴美子
9	両立支援（育児・介護・治療）	・ケース課題についての発表、討議	中川 貴美子
10	自殺予防と危機介入	・ケース課題についての発表、討議	中川 貴美子
11	ポジティブメンタルヘルス	職場におけるポジティブメンタルヘルスを学ぶ。	中川 貴美子
12	労働者の職場復帰支援	健康問題による休職から復職後フォローアップまでの流れを学ぶ。	西郷 達雄
13	労働におけるリスクマネジメント	産業および医療領域における事故の事例から、安全管理の在り方について学ぶ。	西郷 達雄
14	職場環境の改善と整備	職場環境改善における労働者の能率増進、労働時間の適性管理、及びワークライフ・バランスについて学ぶ。	西郷 達雄
15	新しい働き方	リモートワークや在宅勤務など新しい働き方におけるさまざまな心身の問題について学ぶ。	西郷 達雄

【授業実施形態】

面接授業と遠隔授業の併用

授業実施形態は、各学部（研究科）、学校の授業実施方針による

【評価方法】

発表と討議への参加（60%）、レポート課題（40%）。

【教科書】

使用しない。適宜資料を配付する。

【参考書】

野島一彦（編）：公認心理師入門．日本評論社．2017．
野島一彦（監）：＜公認心理師分野別テキスト＞産業・労働分野理論と支援の展開．2019．
池田 浩（編）：産業と組織の心理学．サイエンス社．2017．
馬場昌雄（監）・馬場房子（監）・岡村一成（監）：産業・組織心理学 [改訂版]．白桃書房．2017．
重野純（監）・高橋晃（監）・安藤清志（監）：＜キーワード心理学シリーズ12＞産業・組織．新曜社．2011．
金井篤子（編）：産業心理臨床実践．ナカニシヤ出版．2016．
佐々木土師二：産業心理学への招待．有斐閣ブックス．1996．
外島裕・田中堅一郎（編）：産業・組織心理学エッセンシャルズ [改訂三版]．ナカニシヤ出版．2000．
山口裕幸・金井篤子（編）：よくわかる産業・組織心理学．ミネルヴァ書房．2007．
加藤容子・三宅美樹（編）：産業・組織心理学 個人と組織の心理学的支援のために．ミネルヴァ書房．2020

【学修の準備】

講義で課された課題について、次の講義までに発表スライドおよび資料を作成すること。
講義内で紹介される参考文献や書籍等は積極的に活用し、予習・復習を行なうこと。

【ディプロマ・ポリシー（学位授与方針）との関連】

本科目の内容は、臨床現場において人の尊厳を重んじた科学者・実践家として社会に貢献することが期待できる能力を修得するという臨床心理学専攻博士前期（修士）課程のディプロマ・ポリシーに適合している。

【実務経験】

西郷達雄（公認心理師） 中川貴美子（公認心理師）

【実務経験を活かした教育内容】

これまでの臨床経験、研究成果、社会的活動の経験を活かし、実践的な技術および知識の修得を目指した教育を展開する。